

日本水泳連盟「薬の相談窓口」集計報告(2025 年)

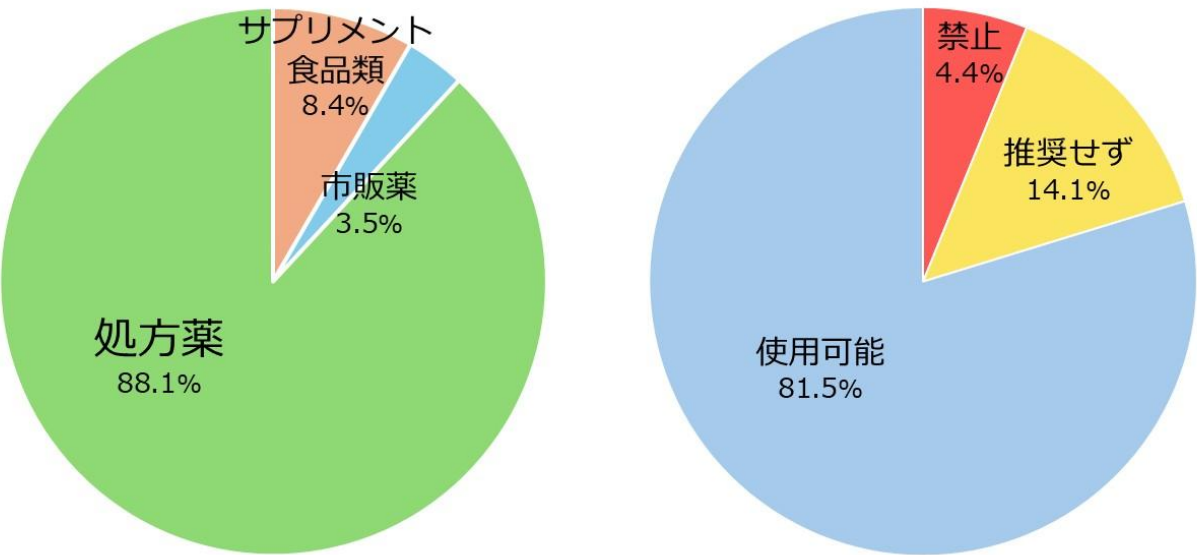
2025 年 1 月

日本水泳連盟アンチ・ドーピング委員会
スポーツファーマシスト

2024 年に日本水泳連盟ホームページ内の「薬の相談窓口」で受けた問い合わせ件数とその内訳を報告する。

2024 年 1 月 1 日から 12 月 31 日までに「薬の相談窓口」に 105 件、227 品目の問い合わせがあった。処方箋医薬品は 200 品目(88.1 %)、市販薬は 8 品目(3.5 %)、サプリメント・食品類は 19 品目(8.4 %)であった。

全 227 品目のうち 14 品目(4.4 %)に禁止物質が含まれていた。漢方やサプリメントなど、明らかな禁止物質は含まないが自己責任での服用（推奨せず）と回答したものは 32 品目(14.1 %)であった。



なお、競技者カテゴリー別の問い合わせ件数は、カテゴリーA は 10 件(9.5 %)、カテゴリーB は 33 件(31.4 %)、カテゴリーC は 62 件(59.1 %)であった。

競技者カテゴリーの分類は以下の通り。日本水泳連盟所属競技者 <TUE ガイド> より抜粋。

競技者カテゴリー	競技者の状況
A (国際レベル競技者)	World Aquatics により「国際レベル」と定義・分類された競技者 (World Aquatics による検査対象者登録リスト競技者(RTP/TP) ^(注1) 又は、World Aquatics 指定の国際競技大会に出場する競技者)
B (国内レベル競技者)	JADA による検査対象者登録リスト競技者(RTP/TP) ^(注2) 又は、 JADA が指定する「国内最高レベルの競技会」(日本選手権や国民体育大会)に出場する競技者
C (A・Bに該当しない競技者)	上記以外の日水連登録競技者(インカレ、インターハイ、全中、JO から各県 B 級大会なども含む) (正しい医療機関受診をした上で、通常の TUE 申請は必要なし。検査を受けて陽性となった場合に遡及的 TUE 申請をする。)